

第 4 章 個別施設計画

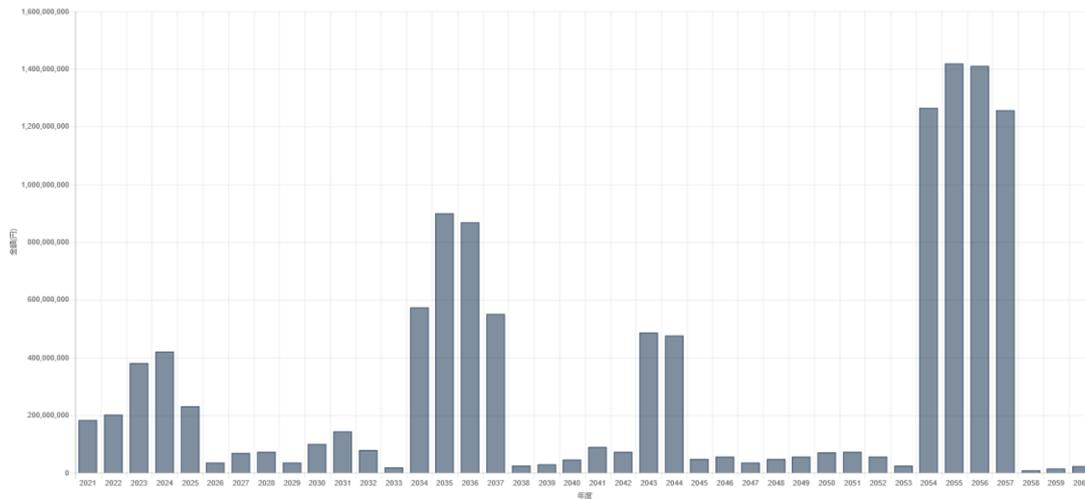
行政系施設

行政系施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
庁舎等	市役所庁舎	4	21,137.60 m ²
	支所	2	4,341.64 m ²
	消費者生活室	1	54.16 m ²
	富岡防災倉庫	1	189.00 m ²
消防施設	消防署	3	4,762.75 m ²
	消防団詰所	70	5,097.55 m ²
その他行政系施設	環境管理事務所	1	2,509.77 m ²
合計		82	38,092.47 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替費用 119.5億円 / 1年あたり 3億円



行政系施設

No.	施設名称	No.	施設名称
1	市役所本庁舎	51	消防団加茂谷分団第二班詰所
2	市役所旧第2仮庁舎	52	消防本部楠根地区水防倉庫
3	市役所第1駐車場	53	消防団桑野分団第二班詰所
4	市役所上中倉庫	54	消防団羽ノ浦分団第四班詰所
5	那賀川支所	55	消防団羽ノ浦分団第七班詰所
6	羽ノ浦支所	56	消防団見能林分団第三班詰所
7	消費生活室	57	消防団長生分団第五班詰所
8	富岡防災倉庫	58	消防団福井分団第三班詰所
9	消防本部庁舎	59	消防団中野島分団第一班詰所
10	消防署南出張所	60	消防団長生分団第一班詰所
11	消防署西出張所	61	消防団宝田分団第二班詰所
12	旧那賀川分団第一班詰所	62	消防団羽ノ浦分団第一班詰所
13	消防団橘分団第二班詰所	63	消防団那賀川分団第一班詰所
14	旧見能林分団第五班詰所	64	消防団羽ノ浦分団第二班詰所
15	消防団富岡分団第三班詰所	65	消防団富岡分団第一班詰所
16	旧桑野分団第四班詰所	66	消防団富岡分団第四班詰所
17	消防団長生分団第二班詰所	67	消防団中野島分団第二班詰所
18	消防団見能林分団第四班詰所	68	消防団中野島分団第三班詰所
19	消防団桑野分団第三班詰所	69	消防団新野分団第四班詰所
20	消防団那賀川分団第六班詰所	70	消防団富岡分団第五班詰所
21	消防団加茂谷分団第一班詰所	71	消防団那賀川分団第三班詰所
22	消防団宝田分団第一班詰所	72	消防団那賀川分団第二班詰所
23	消防団見能林分団第一班詰所	73	消防団那賀川分団第五班詰所
24	消防団新野分団第七班詰所	74	消防団羽ノ浦分団第三班詰所
25	消防団新野分団第一班詰所	75	消防団富岡分団第二班詰所
26	消防団富岡分団第六班詰所	76	消防団那賀川分団第四班詰所
27	消防団新野分団第六班詰所	77	消防団見能林分団第五班詰所
28	消防団大野分団第三班詰所	78	消防団椿分団第一班詰所
29	消防団羽ノ浦分団第五班詰所	79	消防団新野分団第二班詰所
30	消防団新野分団第五班詰所	80	環境管理事務所
31	消防団椿分団第四班詰所	81	消防団福井分団第一班詰所
32	消防団大野分団第二班詰所	82	消防団桑野分団第四班詰所
33	消防団桑野分団第五班詰所		
34	消防団加茂谷分団第六班詰所		
35	消防団新野分団第三班詰所		
36	消防団長生分団第四班詰所		
37	消防団橘分団第一班詰所		
38	消防団加茂谷分団第八班詰所		
39	消防団加茂谷分団第三班詰所		
40	消防団椿分団第二班詰所		
41	消防団羽ノ浦分団第六班詰所		
42	消防団長生分団第三班詰所		
43	消防団加茂谷分団第五班詰所		
44	消防団福井分団第二班詰所		
45	消防団椿分団第五班詰所		
46	消防団加茂谷分団第四班詰所		
47	消防団大野分団第一班詰所		
48	消防団加茂谷分団第七班詰所		
49	消防団福井分団第四班詰所		
50	消防団桑野分団第一班詰所		

1 施設の基本情報

施設名称	阿南市役所本庁舎		
所在地	阿南市富岡町トノ12-3		
施設分類	行政系施設	所管課	総務課
延床面積(対象)	20,617.60 m ²	避難所指定	緊急避難所
設置目的・役割	阿南市の拠点となる庁舎		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
市役所本庁舎高層部	10,195.54 m ²	RC造	H27.1	新耐震基準
市役所本庁舎低層部	10,422.06 m ²	RC造	H29.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	平成29年3月に建替えを行った新しい庁舎であり、劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	設備の定期点検を実施し、計画的な予防保全の考え方に基づき、適切な維持管理・修繕等を実施する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	阿南市役所旧第2仮庁舎		
所在地	阿南市富岡町トノ12-3		
施設分類	行政系施設	所管課	総務課
延床面積(対象)	310.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本庁舎建替時に仮庁舎の役割を担うため取得		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
市役所旧第2仮庁舎	310.00 m ²	RC造	S39.12	旧耐震基準・H18耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁のひび割れや雨漏りが見受けられる。建物貸付のため1階部分を改修した。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	令和元年度に徳島県及びシルバー人材センターと10年間の建物賃貸借契約を締結しており、用途を終え次第随時除却予定。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	第1駐車場倉庫		
所在地	富岡町佃町540-1		
施設分類	行政系施設	所管課	総務課
延床面積(対象)	54.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	各課の備品を保管		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
第1駐車場倉庫	54.00 m ²	RC造	S63.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁にひび割れ等があり、老朽化が著しい。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	改修工事等を行わず、老朽化により使用が困難となり次第除却する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	市役所上中倉庫		
所在地	上中町中原113-2		
施設分類	行政系施設	所管課	総務課
延床面積(対象)	156.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	各課の備品を保管		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
市役所上中倉庫	156.00 m ²	S造	H13.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	使用において支障となるような課題はない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	改修工事等を行わず、老朽化により使用が困難となり次第除却する。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川支所庁舎		
所在地	那賀川町苅屋323		
施設分類	行政系施設	所管課	那賀川支所
延床面積(対象)	2,135.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	行政サービスの拠点		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川支所庁舎	1,400.35 m ²	RC造	S43.10	旧耐震基準
那賀川支所庁舎(増築部)	62.44 m ²	RC造	S57.4	新耐震基準
那賀川支所庁舎(増築部)	477.71 m ²	RC造	S60.3	新耐震基準
那賀川支所庁舎無線室	195.00 m ²	S造	H5.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り、外壁の亀裂等の老朽化が著しい。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設の老朽化が著しく、今後は利用率も低下していくことが予想される。那賀川支所庁舎無線室については、情報通信基盤施設の基地となっていることから、適切に維持管理を行い継続利用を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦支所庁舎		
所在地	羽ノ浦町中庄ナカレ16-3		
施設分類	行政系施設	所管課	羽ノ浦支所
延床面積(対象)	2,206.14 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	行政サービスの拠点。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦支所庁舎	1,058.84 m ²	RC造	S41.6	旧耐震基準
羽ノ浦地域交流センター	1,059.39 m ²	RC造	S44.7	旧耐震基準
羽ノ浦支所書庫	87.91 m ²	S造	H14.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	庁舎は築後50年が経過し、老朽化が著しく、施設内天井や壁に亀裂が多数発生している。羽ノ浦地域交流センターでは、雨漏りが生じている。書庫は現在においても他課の書類を多く保管している。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設の老朽化が著しいため、除却を検討している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消費生活室		
所在地	羽ノ浦町中庄大知淵41-13		
施設分類	行政系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	54.16 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消費者協会(羽ノ浦)の事務所として使用		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消費生活室	54.16 m ²	S造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	特に目立った老朽箇所等は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用を行う
基本的な考え方	消費者協会(羽ノ浦)の事務所として貸付けしており、適宜点検や修繕等を行い、適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	富岡防災倉庫		
所在地	富岡町トノ町11-1、12-1		
施設分類	行政系施設	所管課	危機管理課
延床面積(対象)	189.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	備蓄倉庫		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡防災倉庫	189.00 m ²	S造	S53.1	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	避難所機能強化には災害対策用の備蓄資機材の充実が必要不可欠なため、備蓄倉庫として継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防本部庁舎		
所在地	辰己町1-33		
施設分類	行政系施設	所管課	消防総務課
延床面積(対象)	3,969.63 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防防災活動の拠点施設		
建物外観 (庁舎)		建物外観 (訓練棟)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防本部庁舎	3,489.29 m ²	RC造	H15.5	新耐震基準
消防本部 訓練棟	331.43 m ²	RC造	H15.5	新耐震基準
消防本部 公用車庫	148.91 m ²	S造	H15.5	新耐震基準
消防本部 東車庫	67.12 m ²	S造	R2.2.27	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	空調設備の改修工事を実施する必要がある。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	消防防災活動の拠点施設として、適宜必要な点検・改修等を行い、適切に施設の維持管理を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防署南出張所		
所在地	橘町大浦9-1		
施設分類	行政系施設	所管課	消防総務課
延床面積(対象)	366.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防防災活動の拠点施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防署南出張所	366.50 m ²	RC造	S57.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が激しい。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	施設の老朽化が著しいうえに、地域防災計画において津波浸水区域にも指定されているため、施設を移転する必要がある。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防署西出張所		
所在地	長生町西方365-1		
施設分類	行政系施設	所管課	消防総務課
延床面積(対象)	359.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防防災活動の拠点施設		
建物外観 (出張所)		建物外観 (資機材庫)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防署西出張所	319.50 m ²	RC造	H17.10	新耐震基準
消防署西出張所 資機材庫	40.00 m ²	S造	H17.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	課題となるような劣化等は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	消防防災活動の拠点施設として、今後も適切な維持管理・修繕を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	旧那賀川分団第一班詰所		
所在地	那賀川町中島114-10		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	56.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
旧那賀川分団第一班詰所	56.00 m ²	S造	S49.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁トタン及びドア枠に錆びが見られる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	新町協議会から行政財産使用申請があり貸付けをしている。施設の老朽化を考慮し、地元と協議を行い、用途を終え次第、除却を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団橘分団第二班詰所		
所在地	橘町鶴9-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団橘分団第二班詰所	48.00 m ²	S造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根の破損及び外壁塗装の剥がれ、屋外階段に劣化が見られる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	別の場所に施設を建築中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	旧見能林分団第五班詰所		
所在地	見能林町念仏免4-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	53.84 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
旧見能林分団第五班詰所	53.84 m ²	RC造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	壁コンクリートにひび割れが見られる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	石仏自主防災会より行政財産使用申請があり貸付けをしている。施設の老朽化を考慮し、地元と協議を行い、用途を終え次第施設の除却を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第三班詰所		
所在地	富岡町寿通105-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	79.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第三班詰所	79.50 m ²	木造	H30.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	平成30年に建築された建物であり、現在のところ劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	旧桑野分団第四班詰所		
所在地	内原町大谷22-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
旧桑野分団第四班詰所	48.00 m ²	S造	S54.11	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段に錆び及び外壁塗装に錆びが見られる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	新施設が完成しており、除却を検討している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第二班詰所		
所在地	長生町池ノ内1-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第二班詰所	48.00 m ²	S造	S55.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	コンクリートから鉄筋が見えており、シャッター及び屋外階段に錆。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、今後建替えを検討中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団見能林分団第四班詰所		
所在地	大瀨町210-62		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団見能林分団第四班詰所	48.00 m ²	S造	S55.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根コンクリートから鉄筋が見えており、屋外階段に錆びが見られる。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、今後建替えを検討中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第三班詰所		
所在地	桑野町宮ノ前38 地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第三班詰所	48.00 m ²	S造	S55.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁コンクリートの剥がれ及び天井・屋外階段に錆びが見られる。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、今後建替えを検討中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第六班詰所		
所在地	那賀川町黒地308-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	200.64 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第六班詰所	200.64 m ²	RC造	S56.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁全体がひび割れ、老朽化している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、耐震診断を実施後、耐震改修等を検討している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第一班詰所		
所在地	楠根町奥山17-9		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第一班詰所	48.00 m ²	S造	S56.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装が劣化しており、シャッター及び屋外階段に錆びが見られる。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、今後建替えを検討中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団宝田分団第一班詰所		
所在地	宝田町中友79-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団宝田分団第一班詰所	48.00 m ²	S造	S57.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッター・屋外階段が錆びており、外壁が劣化している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団見能林分団第一班詰所		
所在地	才見町田中23-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団見能林分団第一班詰所	48.00 m ²	S造	S57.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装に劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第七班詰所		
所在地	新野町西光寺179-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第七班詰所	49.56 m ²	S造	S57.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段全体に錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第一班詰所		
所在地	新野町西馬場21-7		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	60.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第一班詰所	60.00 m ²	S造	S58.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根コンクリートから鉄筋が見えており、シャッターの錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第六班詰所		
所在地	福村町南筋12-4		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第六班詰所	49.56 m ²	S造	S58.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装に劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第六班詰所		
所在地	新野町川亦99-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第六班詰所	49.56 m ²	S造	S58.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッター及び外壁塗装の劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団大野分団第三班詰所		
所在地	中大野町北傍示614-7		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団大野分団第三班詰所	49.50 m ²	S造	S60.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装の劣化及び2階待機室入口ドアの腐食
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第五班詰所		
所在地	羽ノ浦町古毛中須賀68-9		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	57.97 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部 (資機材庫)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第五班詰所	57.97 m ²	S造	S50.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁トタン及び屋根瓦が劣化しており、ドア等に錆びが見られる。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	老朽化が進んでいるため、施設の更新を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第五班詰所		
所在地	新野町久田85-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第五班詰所	49.50 m ²	S造	S60.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装に劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団椿分団第四班詰所		
所在地	椿町加茂前65-4地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団椿分団第四班詰所	49.50 m ²	S造	S60.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装に劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団大野分団第二班詰所		
所在地	上大野町城内68-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団大野分団第二班詰所	49.56 m ²	S造	S63.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装が劣化しており、シャッターに錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第五班詰所		
所在地	山口町森国117-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第五班詰所	49.56 m ²	S造	S63.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッター及び屋外階段に錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第六班詰所		
所在地	吉井町地神南79-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第六班詰所	49.56 m ²	S造	H1.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッターに錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第三班詰所		
所在地	新野町大歳434-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第三班詰所	49.56 m ²	S造	H1.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッターに錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第四班詰所		
所在地	長生町北浦109		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第四班詰所	49.56 m ²	S造	H1.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段全体に錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団橘分団第一班詰所		
所在地	橘町豊浜33-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	100.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団橘分団第一班詰所	100.56 m ²	S造	H3.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根及び外壁に塗装の剥がれがある。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第八班詰所		
所在地	水井町中野29-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第八班詰所	49.56 m ²	S造	H4.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段及びシャッターに錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第三班詰所		
所在地	十八女町静80-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第三班詰所	49.56 m ²	S造	H5.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団椿分団第二班詰所		
所在地	椿泊町小吹川原48		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	76.30 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団椿分団第二班詰所	76.30 m ²	S造	H6.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第六班詰所		
所在地	羽ノ浦町中庄大知淵41-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	107.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第六班詰所	107.50 m ²	S造	H6.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第三班詰所		
所在地	長生町舟田58		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	76.30 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第三班詰所	76.30 m ²	S造	H7.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第五班詰所		
所在地	熊谷町定方38-4		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	62.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第五班詰所	62.40 m ²	S造	H7.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団福井分団第二班詰所		
所在地	福井町動々原85-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	62.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団福井分団第二班詰所	62.40 m ²	S造	H7.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団椿分団第五班詰所		
所在地	伊島町瀬戸168		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団椿分団第五班詰所	72.80 m ²	S造	H7.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第四班詰所		
所在地	大井町東平156-7		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第四班詰所	72.80 m ²	S造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団大野分団第一班詰所		
所在地	下大野町松ノ本23-6		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団大野分団第一班詰所	72.80 m ²	S造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	2階待機室の天井に雨漏り跡が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第七班詰所		
所在地	加茂町南不ヶ35-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第七班詰所	72.80 m ²	S造	H10.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	2階待機室の天井に雨漏り跡が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団福井分団第四班詰所		
所在地	福井町色面142-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団福井分団第四班詰所	72.80 m ²	S造	H10.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第一班詰所		
所在地	桑野町中野115-7		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	74.66 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第一班詰所	74.66 m ²	S造	H11.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第二班詰所		
所在地	深瀬町岡崎31		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第二班詰所	72.80 m ²	S造	H12.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防本部楠根地区水防倉庫		
所在地	楠根町新田187-3地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	66.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防本部楠根地区水防倉庫	66.00 m ²	S造	H12.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第二班詰所		
所在地	阿瀬比町中村20-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第二班詰所	72.80 m ²	S造	H13.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第四班詰所		
所在地	羽ノ浦町古庄古野神13-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	125.31 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第四班詰所	125.31 m ²	S造	H13.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第七班詰所		
所在地	羽ノ浦町春日野1-117		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	172.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第七班詰所	172.50 m ²	SRC造	H13.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団見能林分団第三班詰所		
所在地	中林町原23-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団見能林分団第三班詰所	72.80 m ²	S造	H14.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第五班詰所		
所在地	長生町西方585-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	62.54 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第五班詰所	62.54 m ²	S造	H15.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段全体に錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団福井分団第三班詰所		
所在地	福井町日ノ地340-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	42.24 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団福井分団第三班詰所	42.24 m ²	RC造	H16.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団中野島分団第一班詰所		
所在地	柳島町中川原6-1地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

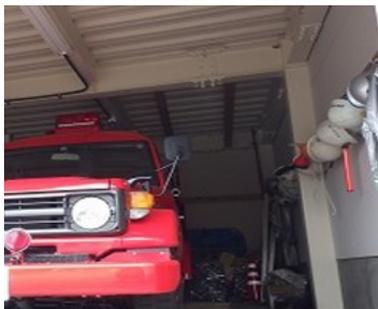
2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団中野島分団第一班詰所	72.80 m ²	S造	H18.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第一班詰所		
所在地	長生町楠ノ元6-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第一班詰所	72.80 m ²	S造	H19.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団宝田分団第二班詰所		
所在地	宝田町今市前ヶ原17-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団宝田分団第二班詰所	72.80 m ²	S造	H20.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第一班詰所		
所在地	羽ノ浦町中庄ナカレ16-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第一班詰所	72.80 m ²	S造	H20.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第一班詰所		
所在地	那賀川町中島420-6		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第一班詰所	86.40 m ²	S造	H21.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第二班詰所		
所在地	羽ノ浦町宮倉本村居内50-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第二班詰所	86.40 m ²	S造	H21.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第一班詰所		
所在地	富岡町車ノ口13-5地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	120.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第一班詰所	120.00 m ²	S造	H22.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第四班詰所		
所在地	日開野町九反ヶ坪939-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第四班詰所	86.40 m ²	S造	H22.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団中野島分団第二班詰所		
所在地	横見町上木戸16-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団中野島分団第二班詰所	86.40 m ²	S造	H22.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団中野島分団第三班詰所		
所在地	上中町南島752-8		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団中野島分団第三班詰所	86.40 m ²	S造	H23.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第四班詰所		
所在地	新野町小砂取37-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第四班詰所	86.40 m ²	S造	H23.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第五班詰所		
所在地	畷町新はり221		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第五班詰所	86.40 m ²	S造	H24.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第三班詰所		
所在地	那賀川町大京原422-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第三班詰所	86.40 m ²	S造	H24.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第二班詰所		
所在地	那賀川町今津浦免許159		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第二班詰所	86.40 m ²	S造	H25.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第五班詰所		
所在地	那賀川町上福井元畷157-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第五班詰所	86.40 m ²	S造	H25.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第三班詰所		
所在地	羽ノ浦町岩脇姥ヶ原51-18地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第三班詰所	86.40 m ²	S造	H26.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第二班詰所		
所在地	富岡町トノ町109-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第二班詰所	86.40 m ²	S造	H26.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第四班詰所		
所在地	那賀川町江野島585-13		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第四班詰所	86.40 m ²	S造	H27.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団見能林分団第五班詰所		
所在地	見能林町林崎139-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団見能林分団第五班詰所	86.40 m ²	S造	H27.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団椿分団第一班詰所		
所在地	椿泊町寺谷1-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	91.09 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団椿分団第一班詰所	91.09 m ²	木造	H28.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第二班詰所		
所在地	新野町是国122-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	79.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第二班詰所	79.50 m ²	木造	H29.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	環境管理事務所		
所在地	富岡町あ王谷35-1、35-4		
施設分類	行政系施設	所管課	生活環境課
延床面積(対象)	2,509.77 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	家庭ごみ収集運搬を行う拠点		
建物外観 (事務所)		建物外観 (機械棟)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
環境管理事務所	1,544.96 m ²	RC造	H7.11	新耐震基準
環境管理事務所 機械棟	53.58 m ²	RC造	H8.3	新耐震基準
環境管理事務所 洗車棟	386.25 m ²	S造	H8.3	新耐震基準
環境管理事務所 車庫棟	524.98 m ²	S造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	課題となるような劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	継続的に施設を運用していくために、必要に応じて適宜点検、改修等を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団福井分団第一班詰所		
所在地	福井町高田67-6		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	79.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団福井分団第一班詰所	79.50 m ²	木造	R1.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	課題となるような劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第四班詰所		
所在地	内原町山下67-6		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	79.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第四班詰所	79.50 m ²	木造	R2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	課題となるような劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—